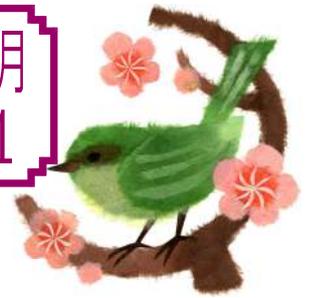


KN グローカルリサーチレポート

2016年3月
No.1



梅花の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、「KN グローカル リサーチ レポート」を創刊することとなりました。読者の皆様が、浜松地域や静岡県域の統計やデータから我が地域の現状を把握し、もって日本や世界を展望し、近未来を予測する事にご利用いただけますと幸いです。ビジネスはもとより日常生活についても「これは知っておくべき情報」をA4用紙一枚でコンパクトにお伝えします。ご期待いただきたくお願い申し上げます。

リーンスタートアップ ① 早く、安く、賢く失敗→修正→早く、安く、賢く失敗→修正→……

リーンスタートアップとは、起業や新規事業などの立ち上げ（スタートアップ）のマネジメント手法で、「Fail fast, Fail cheap, Fail smart = 早く、安く、賢く失敗する」ことを俊敏に繰り返して、市場と顧客価値を模索していく手法である。1～3ヶ月程度で「さっさ」とサービスを立ち上げて、コストをあまりかけずに必要最低限の試作品やサービスを作って、短いサイクルで仮説の構築と検証を繰り返しながら、市場やユーザーのニーズを探り当てていく。

Steve Blank 氏が提唱し、2011年にスタンフォード大学エンジニアリングスクールで始まり、現在はコロンビア大学やプリンストン大学など全米に広がっている。日本では、Steve Blank 氏の直弟子である堤孝志氏と飯野将人氏がこの実践的教育プログラムを展開しており、著者も今年の1～2月、静岡市でのプログラムに参加した。

人・物・金を投入し、こだわり抜き、磨き上げたすばらしい商品やサービスなのに、売れない。在庫の山、予算が無くなる、……こんな経験はありませんか？

とならないために、リーンスタートアップでは、仮説検証を繰り返しながら「再現可能でスケラブルなビジネスモデル」を探索する。新たな事業を小さく始めて成功しそうかどうかを早期に見極め、芽がないと判断したら、すぐに製品やサービスを改良したり、事業の内容を一新したりして、軌道修正を繰り返す。傷が浅いうちに進路を変更し、重傷を負って事業そのものが継続できなくなる事を防ぐ。こうして、資金が枯渇する前に、チャレンジを繰り返し、修正し続け、成功へと近づいていく。

リーンスタートアップでは、創業者や考案者のデザインした「創業プラン」や「新商品」や「新サービス」は、思い込み（仮説）に過ぎず、違っていることが多いと考える。実行する前に、仮説を先に検証する必要がある。「**仮説の検証には、創業者（考案者）自らがオフィスから飛び出して、顧客発見インタビューをしよう！**」（次回に続く）

*****~~ バンコクの風 ~~*****

◇ 電車で見かけるタイらしさ ◇

タイは上座仏教の国です。

今でも、町中では托鉢が見られます。驚いたのが、若い人もかなり信仰心が篤い事です。例えば、町中で仏像の前を通り過ぎるときは、手を合わせていますし、月1~2回くらいのペースでお寺参りに行くこともよくあります。

そんなタイでは当然、大変尊敬されている「お坊さん」。電車の中には、お坊さんのため優先座席があります。左図は、優先席の表示です。

ところで、タイでは1年以上勤務した従業員には、1回に限り、「出家休暇」があります。労働法上は無給休暇でも構いません。だいたい2週間くらいの人が多く、中には3か月ということもあります。（影山）



海外での知的財産権の保護

海外でショッピングをしていると、「あれっ？」と、どこかで見たような商品を目にした経験があるかと思う。

特許庁の2014年度「模倣被害調査報告書」によると、アジア地域で商標権や著作権など知的財産権が侵害される事例が増加しており、アジア地域で製造された模倣品が世界中に拡散する傾向にある。模倣品が出た場合に、

当該国に何かしらの権利が無いと、権利侵害の主張をして、差し止め等の対策ができない。よって、海外でビジネスをする場合は、知財権の登録を、権利化したい国ごとに（属地主義）、一日でも早く（先願主義）出願する事が必要である。海外進出の第一歩となる「海外展示会」の出店の際にも注意が必要で、少なくとも、会社名や商品名は「商標登録」をした方が良いと言われている。最近、中国やインドネシア等で第三者に先に商標登録されてしまう「抜け駆け登録」が多発しているので注意が必要だ。

海外の知財に関する相談は、最寄りのJETRO事務所や各県の発明協会の「知財総合支援窓口」へ。国や地方自治体の、海外出願の補助金制度もある。

外国での商標権等の取得実務は、日本の特許事務所を経由するか、当該国の外国人代理人を通じて行う。東南アジア諸国の知財については、イセキサイド税理士法人に、お気軽にご相談下さい。



執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士

(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長

(一財)日本総合研究所 客員研究員

浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org